

1. 次の(1), (2)の問いに答えなさい。

(1) 次の計算をしなさい。

① $13 + 7 \times 4 - 42 \div 2$

② $0.78 \div 0.5 + 0.056$

③ $\left(4\frac{1}{4} - 1.5\right) \times \left(7.2 + \frac{4}{5}\right)$

④ $(4 \times 1.05 + 4 \times 2.45) \times 5 - 24$

(2) 次の□に当てはまる数を求めなさい。

① $(14 - \square) \div 6 \times 3 = 5$

② $(\square \div 4) - 0.25 = 2$

2. 次の(1)から(5)までの問いに答えなさい。

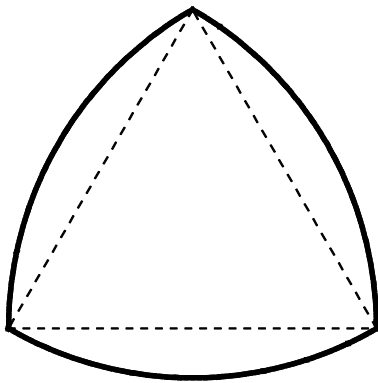
(1) 6と10と15の最小公倍数を求めなさい。

(2) ある製品を作るのに、ロボットAは4分で1個、ロボットBは6分で1個完成させることができます。両方のロボットを同時に動かしてこの製品を100個作るとき、完成までに必要な時間を求めなさい。

(3) 兄は、通常500mLのペットボトルのお茶が5%増量されていたものを買いました。そのうちの4割を妹に飲ませて、残りのすべてを兄が飲んだとき、兄は何mL飲んだか答えなさい。

- (4) ボールペンを12本買うためにA店へ行きました。1本あたり100円で買うことができたが、本数が足りませんでした。その後、足りない分をB店ですべて買うことができたので、使ったお金は1280円でした。B店では1本あたり120円で買ったとき、A店で買ったボールペンの本数を求めなさい。ただし、消費税は考えないものとします。

- (5) 下の図は、正三角形の頂点をそれぞれ中心として、1辺の長さを半径とする円の一部分をコンパスでかいたものです。正三角形の1辺の長さが5cmであるとき、コンパスで書いた線の長さを求めなさい。ただし、円周率は3.14とします。



3. 下の会話を読んで、次の(1), (2)の問いに答えなさい。

- 生徒 「先生！学年の103人みんなで球技大会をやりたいです。」
先生 「そうですね。なにをやりたいですか？」
生徒 「サッカー、野球、バスケットボールの3種目をやりたいです。」
先生 「いいですよ。何チームずつにしますか。」
生徒 「全員が1種目だけ参加するとして、サッカーは1チーム11人、野球は1チーム9人、バスケットボールは1チーム5人なので…。」
先生 「その条件なら、例えばサッカーを6チーム、野球を チーム、バスケットボールを2チーム作ることができますね。」
生徒 「早いですね。どうやって考えたのですか？」
先生 「まずは、試合をするために最低何人必要かを考えます。それぞれの種目に2チームずつあれば試合ができるので、 人必要になりますね。」
生徒 「あ！わかりました。あとは残りの 人について、チーム分けを考えればいいわけですね。」
先生 「表にすると、わかりやすいですね。」

(1) , , に入る数をそれぞれ答えなさい。

(2) 次の表は、残りの 人についてチーム分けを考えるときに生徒が使った表です。先生が出した例もふくめて全部で何通りのチームの分け方があるか答えなさい。

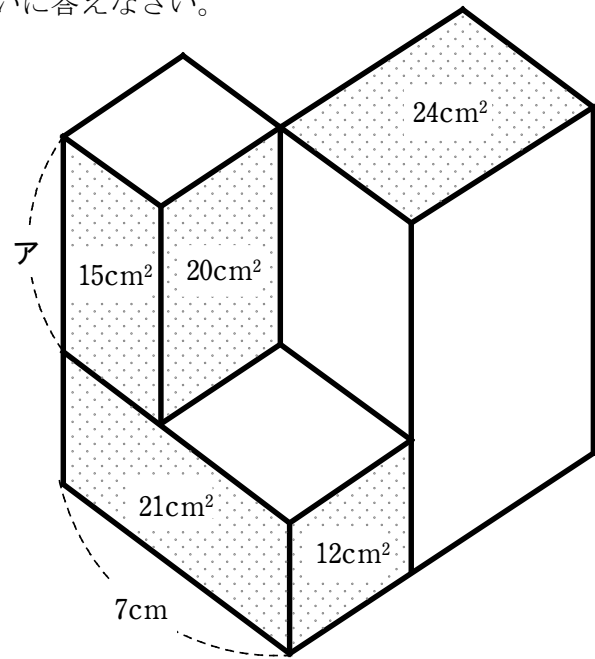
サッカー	4	
野球	1	
バスケットボール	0	

(チーム)

白紙のページ

4. 図のような3つの直方体が重なり合った立体があります。一部の面の面積と辺の長さが分かっているとき、次の(1)から(3)までの問いに答えなさい。

(1) 図のアの長さを求めなさい。



(2) 図の立体の体積を求めなさい。

(3) 図の立体の表面積を求めなさい。

白紙のページ

5. 1から10までの整数をすべてかけた数をAとします。Aは3で何回わり切れますか。答えを出すために必要な式や考え方なども書きなさい。

白紙のページ